

基準引き下げなど反対

全生連が国会議員要請

全国生活と健康を守る どの制度改悪への反対を
会連合会（全生連）は27日 国会議員に要請する国会
日、生活保護基準引き下 行動にとりくみました。
げと扶養や就労の強要な 全国会議員に働きかけよ

生活保護

生活実態は今だって苦しい



国会議員要請行動の報告集会 27日、国会内

うと1月に300人に要請したのにつづき、この日は200人に要請。生活保護利用者の苦しい生活実態や思いを届けました。新潟、長野両県を含め関東一円から70人を超える会員が参加しました。

要請後の報告集会で議員や秘書との対話の内容を交流。「議員にさらに働きかけることが大事。運動を広げたい」などの声が出されました。

藤谷(とうや)加津江事務局長が、「3月には本予算の審議に入り、これからのたたかいがいよいよ大切になってきます。世論の広がりには確信をもって、署名や田村厚生労働相あての『私の一言』葉書などの運動を強めよう」と呼びかけました。

前日の厚労省交渉では、担当者に全国の会員から寄せられた「私の一言」320人分を手渡しました。全生連は他団体とも共同して、3月に国会前の座り込み、議員要請の集中行動を予定しています。